

幕府の動き	将軍	朝廷
頼朝の死 (1199) ↓ 将軍独裁に対する反発	[a. ]	[g. ]上皇の院政
有力御家人による十三人の合議制 ↓		・ 朝廷政治の再興 → 『新古今和歌集』の編纂
北条氏による頼家側近の排除 [ ・ 梶原景時の変 (1200) ・ [b. ]の変 (1203) …将軍家外戚の比企氏を滅ぼす ]	[c. ]	・ 朝廷の武力の充実 → [h. ]
⇒頼家の将軍職はく奪と源実朝の将軍就任 ⇒北条時政が[d. ]となる		を設置
↓ 北条時政の失脚		・ 将軍実朝と連携
[ ・ [e. ]の乱 (1205) …時政と義時の対立の原因に ・ 牧氏事件 (1205) …義時・政子により時政が引退 ]	・ 京文化の摂取 → 『金槐和歌集』	
↓ 2代執権に[f. ]が就任	・ 官位の上昇 →右大臣まで昇進	
・ 和田合戦 (1213) …侍所別当[h. ]が滅亡 ⇒義時が <u>政所と侍所別当を兼任し</u> 、執権の地位を確立	公暁が実朝暗殺 (1219)	
↓	[i. ]が鎌倉へ	
・ [j. ] (1221) …幕府側の勝利		後鳥羽上皇の義時追討の院宣
[ ① 三上皇の配流 後鳥羽上皇 (隠岐)、土御門上皇 (土佐)、順徳天皇 (佐渡) ② 仲恭天皇の廃位と[k. ]天皇の即位 ]		後堀河天皇即位
⇒以後、 <u>幕府が皇位継承に介入するようになった</u>		
③ [l. ]の設置 (初代：北条泰時・時房) 朝廷の監視、京の警備、西国御家人の統括を担当		
④ [m. ]の設置… <u>新補率法</u> の制定 幕府の支配が西国へと拡大 → 地頭と荘園領主の紛争増加		
↓ 幕府創業者の死：義時(1224)・政子・大江広元 (1225)		
・ 3代執権[n. ]の時代	藤原頼経が 将軍就任(1226)	
① [o. ] (初代：北条時房)、[p. ]の設置 ⇒執権・連署・評定衆の合議による <u>執権政治の成立</u>	(藤原将軍・摂家将軍)	
② [q. ]の制定 (1232)		
[ ・ 頼朝以来の[r. ]と武家社会の[s. ]に 基づく初の武家法 ・ 所領訴訟を公平に裁判する基準 ・ 朝廷の公家法、荘園領主の本所法は有効 ]		

幕府の動き	将軍	朝廷
頼朝の死 (1199) ↓ 将軍独裁に対する反発 有力御家人による十三人の合議制 ↓ 北条氏による頼家側近の排除 ・ 梶原景時の変 (1200) ... ・ [b. <b>比企能員</b> ] の変 (1203) ...将軍家外戚の比企氏を滅ぼす ⇒ 頼家の将軍職はく奪と <b>源実朝</b> の将軍就任 ⇒ 北条時政が[d. <b>執権</b> ]となる ↓ 北条時政の失脚 ・ [e. <b>畠山重忠</b> ] の乱 (1205) ...時政と義時の対立の原因に ・ 牧氏事件 (1205) ...義時・政子により時政が引退 ↓ 2代執権に[f. <b>北条義時</b> ]が就任 ・ 和田合戦 (1213) ...侍所別当[h. <b>和田義盛</b> ]が滅亡 ⇒ 義時が <u>政所と侍所別当を兼任し</u> 、執権の地位を確立 ↓ ・ [j. <b>承久の乱</b> ] (1221) ...幕府側の勝利 ↓ ① 三上皇の配流 後鳥羽上皇 (隠岐)、土御門上皇 (土佐)、順徳天皇 (佐渡) ② 仲恭天皇の廃位と[k. <b>御堀河</b> ]天皇の即位 ⇒ 以後、 <u>幕府が皇位継承に介入するようになった</u> ③ [l. <b>六波羅探題</b> ] の設置 (初代: 北条泰時・時房) 朝廷の監視、京の警備、西国御家人の統括を担当 ④ [m. <b>新補地頭</b> ] の設置... <b>新補率法</b> の制定 幕府の支配が西国へと拡大 → 地頭と荘園領主の紛争増加 ↓ 幕府創業者の死: 義時(1224)・政子・大江広元 (1225) ↓ ・ 3代執権[n. <b>北条泰時</b> ]の時代 ① [o. <b>連署</b> ] (初代: 北条時房)、[p. <b>評定衆</b> ]の設置 ⇒ 執権・連署・評定衆の合議による <b>執権政治の成立</b> ↓ ② [q. <b>御成敗式目(貞永式目)</b> ]の制定 (1232) ・ 頼朝以来の[r. <b>先例</b> ]と武家社会の[s. <b>道理</b> ]に 基づく初の武家法 ・ 所領訴訟を公平に裁判する基準 ・ 朝廷の <b>公家法</b> 、荘園領主の <b>本所法</b> は有効	[a. <b>源頼家</b> ]	[g. <b>後鳥羽</b> ]上皇の院政 ・ 朝廷政治の再興 → 『 <b>新古今和歌集</b> 』の編纂 ・ 朝廷の武力の充実 → [h. <b>西面の武士</b> ]を設置 ・ 将軍実朝と連携
	[c. <b>源実朝</b> ]	・ 京文化の摂取 → 『 <b>金槐和歌集</b> 』 ・ 官位の上昇 → 右大臣まで昇進
	公暁が実朝暗殺(1219) [i. <b>藤原頼経</b> ]が鎌倉へ	後鳥羽上皇の 義時追討の院宣 後堀河天皇即位
	藤原頼経が 将軍就任(1226) (藤原将軍・摂家将軍)	